

2022年8月20日

柏ビレジ自治会員各位

柏ビレジ自治会

会長 シュピンドラー千恵子

2022年度 第41回柏ビレジ自治会定時総会

書面表決書ご意見まとめ

平素より自治会活動にご協力賜り誠にありがとうございます。

さて、第41回定時総会はコロナウイルス感染防止のため、書面決議となりました。決議結果につきましては、柏ビレジ・ニュース第164号並びに柏ビレジ自治会ホームページにてご報告したとおりでございますが、書面表決書とともに寄せられたご意見・ご質問への回答をまとめました。なお、ご意見・ご質問は極力そのまま記載しております。ご意見のほか、ねぎらいや励ましお言葉も数多く頂戴いたしました。皆様のご理解、ご協力に厚く御礼申し上げます。

【自治会運営全般について】

- 特にありません。よろしく願いいたします。
- ありません。ご苦労さまです。
- 第2号議案の事業方針(案)を確実に実行してください。
- 役員の皆様には、コロナ禍の下ご苦労も多かった事と存じます。お疲れ様でございました。そうした役員の方々の方々の活動の様子が見えづらいのは残念でした。
- グランドデザインの推進及び自治会活動の電子化等々自治会の活躍を応援しております。
- ご苦労様です。
- イベントの見直しや、業務の軽減には大賛成です。子育て世代にも優しい自治会運営をこれからもよろしく願いいたします。1年間ありがとうございました。
- 会議やイベント等は来年度からという意見が多いです。
- いつもありがとうございます。ここ数年、前向きな自治会活動に頭が下がります。
- ごくろうさまです。ありがとうございます。
- どうぞよろしく願いいたします。
- いつも大変お世話になっております。
- 自治会役員の方々、1年間お疲れ様でした。
- 事業等報告拝読しました。各部会の詳細報告ありがとうございます。柏ビレジをより良くしようという意欲が感じられます。今後とも宜しく願いいたします。
- ご苦労様でございました。
- 会長さんはじめ役員の皆様のご熱心な自治会活動に感謝いたします。
- 恐らく会長は22年度も続投されるかと思いますが、続投される気持ちがあるのであれば、何をしたいかを事前に表明されるべきではないかと思えます。

規約に則り、総会後に選出役員から会長選出になりますので、選挙戦のように事前表明はできません。

よって次年度会長続投如何にかかわらず、総会資料で事業計画を表明させて頂いております。

- 2022年度事業計画をここ急激に、総会が開催されない中、知らない中で色々と変わりつつあり、心配しています。長年住み慣れた環境が変わることを良しとしない住民がいることも考慮してください。ビレジに最近越されてきて、何がどうとか言うのであれば、もう少し違う環境の地域に越していくべきです。

住み慣れた環境であっても、高齢化に伴いこのままの状

態では持続できませんので、住み慣れたまちに住み続けられるように役員は頑張っています。放っておいたら限界集落になる可能性がありますので、今が行動を起こす時と考えます。

- 印刷物について。ここ数年毎年お伝えしていますが、ビレジニュースや新樹会だよりをあれ程の上質紙でカラーコピーを各戸へ配布する意味は何でしょうか？

まず、ご質問の上質紙という文言は「上質な紙」という意味でお使いであると認識し、お答えします。

「上質紙」とは一般的なコピー用紙のことを指すそうで、現在、柏ビレジ・ニュースは「コート紙90kg」という用紙を使っています。加えて、カラーコピーではなく印刷です。この20年ほどで印刷業の技術は進み、印刷システムはコンピュータ制御され、カラーだから高いというのは過去の話（2000年頃）だそうで、むしろ黒単色にするためにカラーのデータをわざわざモノクロに変換する方が、コントラスト調整などの技術料がかかるということでした。

紙の質を落とした価格を問い合わせましたが、コート紙は比較的安価で、コーティングされる前の上質紙とほぼ同じ価格で販売されているとのことでした。その理由は、使用しているコート紙90kgは良質でありながら、現在、社会的に最も普及しているため生産量が多く、価格が抑えられているからだそうです。

広報部としては、自治会活動に関心を寄せていただくために、手に取って読んでいただける物であることを第一に考え、作成しています。

- 回覧板は紙と印刷代の無駄なので、廃止してもいいと思います。
- 回覧板等の書面配布物の廃止及びデジタル化への移行を希望します。

回覧板や各戸への配布は、全ての会員に情報を公平に確実に伝えられる手段です。取りこぼさないためにも、しばらくはデジタルと並行して紙媒体も必要であろうと考えます。

- 自治会員、データベースシステムの本格的運用の中身とは何なのか。

これまでの手作業だった会員の会費納入管理、入転出管理、建築協定加入状況、郵便物の宛先等が、データベース情報から瞬時に確認でき、未納の方への督促や入退会の把握、会員数、班への伝達が容易になりました。そして会計役員の方々の煩雑な手作業業務がなくなりました。

【総会資料関係について】

- 総会資料の配布が遅すぎます。住民の意見を聞く気がありますか？

3月末で会計年度を締め、4月に監査を終え総会資料を確定し、印刷に回し、役員が各戸配布をするとなるとどうしても1か月は時間を要します。それに加えて5月は連休がありますので5月中旬の配布時期が限界です。鋭意頑張っても総会資料の配布時期は変えられませんが、総会日を1週間程度遅らせることで対応したいと思います。

(規約では総会は決算終了後3か月以内に開催と規定されています。)

- 今回の表決書を班長さんに届けるに際し封筒がない。自由な意見表明を禁じたいのかな？

そのようなつもりは毛頭ございません。

各個人がコンビニ等に設置されたアンケートボックスに投函するのであれば封筒を付ける予定でしたが、班長に届けた表決書は、班長が封筒を開け一袋にまとめて提出することから、手間とゴミの削減のために封筒をつけませんでした。

- 第2号議案、特にランドデザインについては、あまりに包括的で具体的中味が見えず、白紙委任する様な形では賛成できない。

2020年度、ランドデザインについては包括的にお知らせし、2021年度は優先事項3つの柱をお示しましたが、説明不足の点があったと思います。コロナ禍で住民の方への説明会開催ができなかったため、今年度は、コロナ状況を鑑みながら、より具体的に説明させていただける機会を持ちたいと思います。

- 今回の緑地協定の規約改正は緑地協定5条「変更と廃止」条項に合致していますか。また同協会の総会資料が未達です。

「柏市柏ビレジ緑地協定」は改正していません。改定したのは「柏ビレジ緑地協定代表委員会規約」であり、当該規約は第17条の代表委員全員の合意で変更できます。

- 緑地委員会で会計書(エクセル)が使い辛く解りにくいです。各表ごとに色分けしておかないと入力ミスが多くなります。毎年USBをクリーンアップしていないのでウィルスが入り込んでいるかも知れません。

ご指摘ありがとうございます。確認します。

【決算予算・自治会費について】

- 確か昨年からの持ち越しの会費見直しについていよいよ取り組んで頂けるように期待しています。40年前発足当時と比べ(世帯数も多くなり)自治会館の建設、防災設備の設置等も進み、市に管理移行した場所もあり、住民の会費で賄わなければならないことは、大幅に減ってきているように思います。ビレジ全体の住環境整備等に当てる費用としては少しでも多くの住民参加が(非会員を減らす方向)求められると思います。

会費で賄うべき事柄を精査して頂ければ、非会員の方へ参加を促すことが出来るのではと思います。なんにしても、1年6,000円は高すぎると思います。

(我が家で計算してみましたが既に24万円程お支払いしたことになります。苦笑)今ごろ気がつきました。

(支出)各部活動費：詳細？支部活動費？1世帯の1年分の会費より多額ですね。

(収入)会館賃貸料：学習塾として使用の方がおられるようですが、賃貸料は？光熱費などは？

各部活動費とは、役員が自らの時間と経費を使って自治会活動をする為の費用であり、実費に近い費用算出されたもので会費とは異なります。当然ながら役員も会費を納入しています。会館賃貸料は、会館利用料のルールに則り賃料を頂いており、自治会運営の収入源になっております。会費については今期、高齢化、現役世代のニーズ、業務の高度化に伴い、業務委託等を採用することを前提に高所大所から検討して参ります。

- 支部活動費については、以前の役員会でも問題提起がありました(と記憶)。コロナ禍で活動の制限が多い中、見直しの好機ではないでしょうか？

コロナ禍であっても支部の活動は以前と変わらず実施しており、むしろステイホームだからこそ身近な要望苦情が多くよせられ、年間を通して支部活動はむしろ増えていますので必要と考えますが、会費見直しとともに費用の見直しも行って参ります。

- 自治会費は、近隣町会自治会費と比べ水準はどうなっていますか。値下げの検討はするのですか。

他の町会の自治会費と比べ、高い、安い、また、妥当というご意見もあり様々です。ただビレジ程様々な活動を精力的にやっている町会は少ないので、その意味では高めかもしれません。何かを諦めることを前提の上値下げの検討もしていきます。

- **自治会員数、未加入者数、未納会費額をお示ください。**

2022年5月末現在、自治会員数 1499、未加入者数 131、会費未納額 614,000円（長期滞納含）です。

- 「街並み計画活動費」に（※まちづくり活動費前年度予算案）120万もの予算が組み込まれていますが、自治会は住民の生活に寄り添ったものであって欲しいです。

勿論、住民生活の幸福のための活動費ですので、その為の予算です。住民の方のニーズが年代によっても様々なので総合的に考えて参ります。

- **決算実績の自治会費について。予算より実績が24万円少ないが、この理由は何ですか？**

未納の分です。

- **2022年予算案について「会館管理費」と「防犯費」が2021年予算及び実績に比べ大幅に増額しているが、その理由・内容は何か？**

会館管理費 → 2021年度予算3,050,000円に対し、実績2,667,000円だったこの差は雇用事務員の退職による人件費減です。3名で予算を組んでいましたが期の途中で2名になり、シフトなので1人で窓口対応と事務処理業務を同時対応することがとても大変でした。したがって、2022年では不測の事態に備えて2名/1日の曜日シフト制4名で予算を組みました。その代わり役員の業務負担は軽減されました。そして、新設の有料コピー用のコピー機リース料の増額です。結果として、合計90万円が2021年予算と比較し増額としました。但し、有料化によるコピー代金収入5万円を収入予算に計上しています。

防犯費 → 防犯灯2基、防犯カメラ2基、防犯灯電気代及び賞味期限を超過した備蓄するビスコの再購入費です。但し、防犯カメラ、防犯灯については補助金があり、こちらも収入として予算計上しています。

- **2022年度予算について「収入合計」は2021年比微減しているのに対し支出総額は4百万円近く増えている。本当に必要で中身のあるものだけで充分である。内容の伴わないものは計上すべきではない！！**

2021年は、コロナ禍でイベントがなくなり予定事業費360万円を使いませんでした。まちづくり活動もできなかったため、支出が2021年計画より大幅に抑えられた結果となりました。2022年計画ではイベントやまちづくりの為の活動をする前提で計320万円計上しているうえに、自治会運営の業務委託化、防犯費増により昨年実績より400万円近く支出予算総額が増えています。2022年度

計画では2021年度の計画より280万円支出を抑えております。

- **自治会費削減の見返りは必要ないと思われる。**
- **自治会館使用料を値上げするということですが、イベントもコロナで開催出来てない状態で、上げるよりも安くして会館を利用してもらえの方が、住民サービスの向上につながった方が、良いと思います。**

自治会費を減額し、高齢化による住民減、未加入者増により会費収入が減ることを想定して、13年間変わっていない会館使用料金を見直しました。自治会員利用の料金は据え置きであり、営利目的や非自治会員利用者への使用料を値上げしました。会費収入以外の収入確保のひとつの手段として、他の施設の利用料金を参考にした料金体系としました。

- **2年間夏と冬の大きな事業を中止しているにもかかわらずそれらの費用がどこに移ったのか？がわからない。**

繰越金（4,137,425円）として残っているほか、まちづくり積立金2,000,000円、行事積立金（500,000円×2年分）に計上移行しています。

- **①住民の高齢化、役員の負担を考慮して、大きなイベント（夏祭り、もちつき大会）を廃止。②イベントにかけていた年間予算分の自治会費減額。③自治会費減額後は、引落しを年1回とし、役員の業務負担を減らす。以上3点を希望します。**

- ① 今年度は中止します。今後も役員負担と会費減を考えた規模にする必要があると考えます。但し今年度は実験的に夏に代わる秋のイベントを計画中です。
- ② 事業費予算案360万円→220万円に減額
- ③ 来期から年1回の引落としにし、役員の業務負担減と住民の利便性、管理の簡便化を図ります。

【グランドデザイン①

水辺の公園リニューアル・

40周年記念行事等について】

- **柏ビレジグランドデザイン（未来まちづくり部の活動）説明会の開催を要望。**
- **年内適当な時期に、是非生の声で説明（ZOOMによるオンラインでなく）**
- **熱意ある方々が進める検討の中味**

柏市との協働により、未来まちづくり部、および柏ビレジグランドデザイン推進プロジェクトが中心となり、グランドデザインの検討を重ねてきました。

水辺公園リニューアル案につきましては、昨年度、住民の皆さまにご協力をいただいた「水辺公園リニューアルアンケート」の結果に基づく内容となっております。現時点では協議中の事項も多数あるため、適切な時期に住民の皆さまへご説明を行わせていただきます。その際は、会場の関係上、対面とオンラインのハイブリッド形式となる可能性が高いと思います。ご理解の程お願いします。

- **ハード及びソフト面からの活動計画となっているか**
ハード面では公園内の修繕やトイレの設置等、ソフト面では40周年記念事業として住民の皆さまの交流を図れるようなイベントを企画する予定です。

- **いつ頃には何が実現できそうか**

柏市との協働が必須であるため、確約ができず心苦しいのですが、現在2023年に40周年記念イベントを企画しており、それまでに水辺公園のリニューアル（修繕が主）をし、高齢者や車椅子でも通行できる安心安全な公園環境を作りたいと思っています。

- **住民に協力してもらいたいことは何か（例えば水辺公園警備、住民交流に関して等）**

住民の皆さまが実際に警備をする等の参加型ルールの設定については、持続性の観点から慎重に検討させていただきます。住民交流に関しましては40周年記念イベントを企画いたしますので、是非ともご参加下さい。これより具体的な検討においてご協力をお願いすることが見えてきますのでその際は是非ご協力下さい。

- **水辺公園のリニューアルには今後の維持費も考慮して下さい。**

維持費の検討は持続性の観点からも非常に重要な点だと認識しております。ご指摘有難うございます。

- **水辺公園にトイレの設置、第3停留所にベンチの設置を望む。**

トイレの設置は、昨年度の水辺公園リニューアルアンケートからもご要望の多かった項目です。ベンチについても、設置場所は未定ですが、水辺公園内の古いベンチを撤去、新たなベンチを設置する方向で協議をしております。第3停留所のベンチについては別途検討をさせていただきます。

- **水辺の公園に関して、近くに住む者（※5支部）としての意見。この公園の近くの道路は夜になると人通りが少ないです。バスから降りた帰宅者位です。人目がないということは、夜は危険です。建物（トイレ）等作ればそこに連れ込まれると危ないです。…ということを考えてください。遠くからたまに**

水辺の公園に遊びに来る人の意見より近くに住んでいる人の意見を聞いて欲しいです。

ご指摘有難うございます。近隣の住民の方の貴重なご意見として、共有をさせていただきます。

- **第1調整池のアオコ問題解決を早期に願います。下水道維持管理課の言いなりになっていませんか？**

下水道維持工務課（前管理課）との協働は必須であり、ビレジの住民として、必要なことは、これからも当該課へお伝えをしたいと思います。アオコ問題解決の具体的な方策を実験的に実施し、有効性を確認します。ご心配をおかけしておりますが、自治会としても一意専心に取り組んでおりますので、ご理解をいただけましたら幸いです。

- **水辺公園は調整池の一部であることをよく考えてください。（40周年記念はいいですが）**

まずは40周年記念事業へのご理解をいただき感謝申し上げます。はい。ご指摘の通り、水辺公園の本来の目的を念頭に、修繕、リニューアルを検討致します。ご指摘有難うございます。

- **第2号案の水辺の公園リニューアルについて、以前の資料を見ると、ビオトープの埋め立て、池の周辺にカフェ・ジムなど建てる案があります。このまま全体アンケートなどをもとに希望者多数ということで決められることを危惧します。防災の観点からしっかり検討してほしいです。災害被害が出ると柏ビレジの価値は一気に下がることになります。**

昨年度実施させていただきました「水辺公園リニューアルアンケート結果」は住民の皆さまの大切なご意見として取り扱わせていただいております。しかしながら、ご指摘のビオトープの取り扱いや、カフェ・ジム等の設置に関しては決定事項ではありません。本来の公園の目的を損なわず、引き続き、住民の皆さまとの対話を大切に、魅力ある公園を目指したいと思います。

- **水辺公園リニューアルは少し議論の必要がある。もう少しみんなの意見を聞くべき。今の自然を活かすべき。遊水地であることも考慮すべきなどと思う。**

公園は柏市の財産であり、遊水池という本来の公園の目的は必ず維持されます。その上で、公園リニューアルに関しては、ご指摘の通り、貴重な自然を損なうことなく、慎重かつ丁寧な計画が求められると考えております。

- 旧住民と新住民との間に価値観の違いがある。水辺の公園リニューアルには特に感じられる。慎重な判断を望む。

ご指摘の通り、世代により住まい方や価値観は必ずしも同じではありません。しかし、それぞれの世代における多様性の良いところを活かせるような柏ビレジを目指して参りたいと思います。安易な判断を行わず、慎重に協議を進めて参ります。

- 水辺の公園に公衆トイレ作るとの案が出ているみたいですが、防犯上設置しないで欲しい。

ご指摘のトイレ設置に関する不利益に関しましては協議の場で共有をさせていただきたいと思います。現在、トイレが必要であるとするご意見も多数いただいております、防犯に考慮した構造にするなど、慎重に協議を行いたいと思います。貴重なご意見をありがとうございます。

- いちょうの木がありすぎて足元が悪く、つまづきの原因になる為、間引きしたほうがよい。

ご指摘の通り、自治会としても水辺公園の足元の悪さは早急に修繕したいと考えております。すでに、柏市担当課へ相談をさせていただいております。高齢者や車椅子でも通行できる安心安全な公園を目指します。

- 柏ビレジ自治会創立40周年記念事業として水辺の公園リニューアルを行うことが決定されたということですが、まずリニューアルアンケートを実施する前に記念事業として何を行うかのアンケートを実施すべきではなかったでしょうか。この水辺の公園アンケートは誘導質問が多く、今の水辺の公園を愛するものとして大変残念でした。確かに水質は悪いですが、水質改善のための方策を考えればいいことです。水辺の公園、ピオトープに行ったことがない人にとって、泥沼とか危険とか書かれていたら、そうかもしれないと思ってしまうのではないのでしょうか。私自身も高齢者に属しますが、危険と感ずることはありません。過去に事故があったということですが、詳しい状況をお知らせください。閉鎖や埋め立てなどと違った対策が考えられないのでしょうか。行って見ていただければ、とくに春先は水もきれいで、新緑や桜の花もあり、眺めがよい場所です。

アンケートの設問で、年に1~2回しか水辺の公園に訪れない人と利用しない人を合わせた割合は、書面で44%、Webで60%になります。ピオトープの安全対策に関するアンケートの結果第1位のピオトープを閉鎖するという選択肢を選ばれた割合は、書面

で52%、Webで47%でした。年に1~2回もしくは全く利用しない住民の割合と閉鎖するという選択肢を選んだ住民の割合が近いことは一考の余地があります。つまり、行くことがほとんどない人にとってはその貴重さがわかってないということではないかと思われます。

公園を訪れる回数か少ないこと=利用者が少ないので必要ない、ということではありません。水辺、緑地の存在は生物にとって必要なものです。SDGsを言うまでもなく、その生態系の頂点にある人間にとっても大変貴重なものであることを認識していただきたいと思います。

安全対策第2位の、現状維持で良いという選択肢を選んだ人が書面で23%、Webで27%で、この数字は水辺の公園をほぼ毎日、または週に1~2回利用するという方の割合に近いものです。アンケートの設問のかなり極端な〈内容〉にもかかわらず、これだけの割合の方が現状維持でいいと答えています。実際に行っている人は、この場所の良さを評価しているのです。鳥や昆虫、または季節によって、その年によって出現する植物も多様です。アンケートの調査結果の主なコメントもありましたが、散歩しながらそういった自然を楽しむ人達がいることも考慮すべきではないでしょうか。

第5公園や近隣公園に既に子供の遊び場があり、最近ビレジ西側には田中公園(※たなかT公園)も造られました。ウグイスやシジュウカラなどの小鳥はもちろん、なぜ、カワセミが獲物を狙い、フクロウやアカゲラも訪れる貴重な自然を壊して、ピオトープを埋め立てなければならぬのでしょうか。閉鎖だけならばバードサンクチュアリとして残せますが、埋め立ててしまえば、生物にとって大切な水面が減ってしまいます。しかし、閉鎖すれば目が行き届かなくなり管理が難しいと思います。このままの形で残したいと思います。

〈ピオトープ〉の意味は知られていません。ピオトープの意味は生き物のいる空間ということです。この空間を保つためにはそれなりの維持活動が必要です。〈ピオトープ〉は開発によって身近な自然が急速に失われていることへの反省から2000年頃にはあちこちで作られるようになっていました。ピオトープの維持活動こそ、記念事業としてふさわしいと思われますが、アンケートの設問にはこの本来の

意味に関する項目はありませんでした。

全体のご意見として、このままの状態であるべきと理解しました。ご意見有難うございます。

アンケートについては、住民代表から構成される自治会の役員会・部長会にて決定したものであり、過去に実施された「10周年」「20周年」「30周年」の時でも、「記念事業として何を行うかのアンケート」は実施しておらず、自治会の役員会で検討・決定しています。アンケートの作成にあたっては、柏市の協力の下、作成したのですが、質問内容に関して改善の余地があるとすれば、今後の課題として、より客観性のあるアンケートとなるよう活かしていきます。

子供の遊び場は限定するものではなく、全世代が憩えるような公園にしたいと考えています。その為に、生態系や環境を壊すようなことは行いませんのでご安心下さい。折角良い環境ですので、生物のみならず、我々住民にとってもよい公園にし、共存を目指します。もともと人工的に作られた貯水池であり、防災目的であることは重々承知しています。

生活環境や年代ニーズには違いはありますが、当公園は柏市所有のみんなの公園ですので、これまで利用が少なかった住民の方のニーズにも傾聴していることをご理解下さい。

尚、ビオトープの本来の意味はおっしゃる通りです。しかし、20年程前ビレジの要望で作ったはずのビオトープは、結果的に維持管理が出来ておらず、今では危険な場所（転落のリスク）と化しています。

住民から聞いた話ですが、大人と子供（孫）がビオトープの木道を歩いていた時に、子供が誤って足を踏み外し、木道から沼に落ち、それを助けようとした大人も、沼に落ちた。また、犬と散歩していた方が、犬が同様に木道から沼に転落したために、あわてて、飼い主も沼に飛び降り犬を助け上げたと聞いています。他にも、特に雨上がりの濡れた木道上で滑ったり、経年劣化により、木道の剥がれかかった板につまずいたなど、危ない経験をされた方がいらっしゃるようです。幸いなことに、いずれのケースも死傷事故には至らなかったものの、実際に人間や動物の転落事故が発生している以上、自治会としても、ビオトープのリニューアルを実施するまでは、住民の事故防止、安全対策のために、対策される間は一時的にビオトープを閉鎖せざるを得ません。

- **ここのビオトープは、1990年頃からの第1調整池の汚濁を改善するため、井戸を掘り、きれいな水を**

流すことに伴って、2002年11月から2003年にかけて、以前は第1調整池の一部であったところを、45,675,000円（うち3分の1は国の補助）の費用で造成されたものです。（2003年6月柏ビレジ・ニュース83号に記載）残念ながら、工事竣工後の水質検査は飲料水用の検査項目のみで、池の浄化に必要な検査項目（窒素・リン）は不十分でした。

2015年から2018年まで自治会の組織だった「水辺の公園部会」と市の下水道維持管理課との意見交換会の中でそのことが明らかになり、水質検査をしたところ、池の富栄養化を促進するほど窒素・リンが多い水質であることがわかり、浄化用に掘られた井戸を停止することになりました。このことはしかし、これまで流れていたために、藻類の発生はあってもアオコの発生がなかったビオトープの水質の悪化という結果を招きました。

夏場、水質が悪いとはいえ流れていた状態では、アオコの発生はなかったのですが、残念ながらアオコも発生するようになりました。しかし、秋から春までは透明な水質で、決してアンケートで言われているような泥沼ではありません。藻が発生することはありますが、これは水質が悪いため仕方がない面があります。この水質の改善こそ求められていると思います。

あくまで実験ですが、柏市担当課では、この夏、休止中の井戸のポンプを再稼働させるとともに、第1調整池南端のフラップゲートの1つを開放する事により水流を作り、アオコ発生の抑制への効果を検証する方向で検討しています。秋～春は汚くないですが、夏場のアオコ発生を抑制するように一部の住民の方から強い要望を受けていますので継続的に対応しているところです。

実現できれば、ビオトープにも水流が生まれ、ビオトープの環境改善に繋がるかも知れません。（但し過去はアオコ発生抑制の為に、豊富な栄養素を含む水の水流を止めアオコ発生抑制した経緯があります。）

柏市は、第1調整池のアオコ問題について、今年度もアオコのモニタリングを実施する共に、各水質浄化装置のメーカー各社の装置性能を確認し、他の池に導入されている装置の現地視察を行うなど、自治会の要請で、浄化装置導入の検討を行なっています。

【グランドデザイン②】

コミュニティバスについて】

- **コミュニティバスの確実な実施に期待します。**

来年春の実現に向け、努力いたします。

- **コミュニティバス運行は、運行ルート案・停留所案・運行ダイヤ案・乗車料金案を作成されたと記載されていますのでビレジ住民にも開示して下さい。**

本年8月発行予定の「未来まちづくりニュース（第7号）」で、住民の皆さまに、自治会を含む、未来まちづくり協議会メンバーやバス事業者を交えたタスクチームで検討を重ねてきた「案」をご提示させていただく予定です。それをもとに、今年秋に、住民の皆さまを対象にした実証実験を行い、更なる改善点を洗い出すステップを経て、来春の正式運行に結び付けたいと考えています。

- **コミュニティバスの実証実験に係る経費は予算案に計上されているのでしょうか？**
- **コミュニティバスの運行に係るコスト計算は試算をしているのでしょうか。収支バランス（自治会負担額）はどのように。**

実証実験では、過去に柏市が実施した実証実験結果を参考に、利用される方は「有料」で実施させていただく予定です。できるだけ多くの皆様にご利用いただくため、自治会では、その一部を「まちづくり積立金」または「未来まちづくり活動資金」で補填させていただく予定です。また、実証実験前のルート確認等に係る一切の経費も予算計上しています。もちろん、コミュニティバスの運行に係るコスト計算は収支バランスを含め試算していますが、本格稼働に向けて、更に精査、検討を重ね、後日改めて皆様に公表させていただく予定です。

- **市のコミュニティバスを期待していました。自治会独自の運行には不安を感じます。**

長い間交渉してきましたが、結論として市のコミュニティバスは無理ということがわかりました。ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、柏市では市唯一のコミュニティバスとして、旧沼南町で2007年～2013年まで東武バスに委託し、「かしわコミュニティバス」を運行していました。しかし、走行距離が長い上、公共交通不便地域の一つである広域地域のため、実際の利用者数も極端に少なかったため、最終的に、当該バスの運行が廃止されています。

自治会が契約するバス会社（アビコ西武観光）が責任をもって運行します。バス会社の方で、運転手、代替バス、保険等全てを包括してくれますのでどうぞご安心下さい。

自治会ではバス会社への支払いや利用料金の回収など、利用者の窓口業務役を担います。

- **本年度秋季に実施されるコミュニティバス運行の実証実験の予算はいくらですか？また実運行の際の自治会のリスクはどのようにお考えか？**

未来まちづくり協議会・交通分科会のタスクチームで検討作業を進めてきましたが、コスト算出のベースとなる、運行ルート案、停留所案、運行日案、時刻表案が固まったことで、今後、秋の実証実験に向け、運行コストや運賃等の具体的な検討作業に入ります。実証実験では、できるだけ多くの皆様にご体験いただけるよう「回数券」でのご利用を検討しています。（※道路運送法上の規定により、利用毎の運賃支払いはしません。）

自治会のリスクとしては、利用者が少ない場合の補填額の一部捻出（※「まちづくり積立金」または「未来まちづくり活動資金」を活用予定）です。

- **コミュニティバス導入には充分なる検討をお願いします。**
- **独自運行に伴い、既存のバス会社の撤退といった負の可能性、近隣他市での実態把握、本当に公営は無理なのか？等を含め、将来住民の重荷となることのないようお願いします。**

ご指摘の点、承知しております。コミュニティバスの導入にあたり、東武バスイーストとも何度も話し合いを重ねてきましたが、公営は無理という結論です。東武バスイーストに対するビジネス上の影響を配慮した方向で進めますし、独自運行のご了解をいただいています。また、市によるコミュニティバスの運行も、「基本的に不可」との見解であり、「自治会独自に進める分には問題ない」というコメントをいただいています。したがって、行政ができない以上、自治会主導で進めざるを得ません。利用バスは住宅街や土手などの狭隘道路も走行できる28人乗りマイクロバスで大型バスの路線とほとんどバッティングしません。しかしながら、住民の重荷になるような場合には、「コミュニティバスの導入は断念する」ことも選択肢の一つとして考えています。

【グランドデザイン③】

定期巡回随時対応型訪問介護看護サービスの導入等について】

- **訪問看護サービスに反対はしないが、これではお年寄りの皆さん寄っといでになってしまう。**

訪問介護看護サービスが自宅で受けられると、仕事を持

つ子の世代にとっては有難いので、3世代にとって住みやすくなるのではないかと期待しています。

- 昨年末、同居の母が他界しました。故人の遺品整理、相続（不動産名義変更、銀行預金譲渡）納骨などサポート体制があればいいと感じました。特に、ひとり暮らしの方には「後見人」（柏ビレジ内に）が必要と思いました。

ご意見有難うございます。そのようなサービスも訪問介護看護サービス導入すれば必然的にニーズが可視化され実現性が高くなります。かしわ権利擁護センター（柏市社会福祉協議会内）とNPO法人東葛市民後見の会・柏支部と連携して、今後住民のみなさまに満足頂ける仕組を構築していきます。

- 全ての世代が住みやすくと言うなら、これからの命を大切にす意味で、安心して頼めるベビーシッターの常設を考えてはどうか？（あそこは子育て安心だと少しでもなるよう）

ご意見有難うございます。そうですね、高齢化対策に追われ、子育て世代の住みやすさはあまりクローズアップされていなかったの、参考にさせていただきます。柏市に「かしわファミリー・サポート・センター」（柏市社会福祉協議会内）という制度があり、ビレジ住民の方もよく利用されています。またこの点もPRしていきたいと思えます。

【各行事について】

- 柏ビレジオレンジ散歩毎月第二火曜日実施とありますが、正しくは第二水曜日です。訂正をお願いします。

訂正してお詫びいたします。

- ぜひ花火大会をお願いします。

夏まつりは中止なので時期を変えて実施するかどうか、状況により検討します。

- 議案は全て賛成としましたが、第2号の中にある夏祭り、餅つき大会の削除を条件とします。役員の皆様様が研究、努力されているランドデザインの推進、住民の安全対策としての防犯カメラの設置等々、必要不可欠のテーマが沢山あるでしょう。

今や、祭りや餅つき等で数百万円ものお金をつぎ込む時代ではありません。時代の変化にふさわしい考え方で自治会運営に当たって頂くことを切望します。

仰せのとおりです。時代の変化に合わせて予算を変えていく必要があります。従来は自治会費収入の37%が行事予算でしたが、今年度は23%程度とし140万円予算削減

しました。まちの持続化の為に予算を回して参ります。

- 2022年度計画のイベントで「夏祭り」を未定とするのではなく、8月20日21日実施と期待したい。（コロナ禍で中止ならやむを得ない）なぜなら子どもが楽しむクリスマス会が12月実施とするなら、子どもから大人まで「全ての世代に優しい持続可能なプロジェクト、すなわち自治会がめざしているランドデザイン」とも言える「夏祭り」を未定にするのは、夏祭りに偏見をもってはいないだろうか。この状況下、酒で騒ぐと問題になるのでわかります。したがって、「酒類禁止の夏祭り」としたらいかがでしょうか？
- ふるさと協議会の予定は事業計画されていますが、そろそろ夏祭り、花火を開催してビレジ住民を元気にしたいですね。

ふるさと協議会のイベントは全て中止となりました。またビレジ夏まつりも中止とさせていただきました。理由は、コロナ禍はもとより、役員交代して開催まで3か月しか時間がない、予算がない、そして近年ますます酷暑の中、熱中症の不安もあるからです。その代わりに、秋にイベントを企画しています。ランドデザイン施策の一つとして、実験的に開催予定ですのでご期待下さい。

【建築緑地協定部について】

- 緑地協定代表委員会から令和3年度報告書が未だ届いていない中、自治会の活動報告に緑地協定代表委員会を自治会内組織とするとの報告に違和感がある。役員と代表委員の兼任によるスリム化計るも、互いの組織の独立性を尊重し、緑地協定の会員に対し、年次報告書を提出すべきである。理由は、緑地協定の会員は所有者等で、自治会の会員は住民であり、会員の性格を含めて異なるため。

仰せの通りです。緑地協定代表委員会の活動報告と総会資料は、それぞれの責任で配布しているため、配布タイミングがあわずに驚かれたことに対しお詫びいたします。自治会内組織ではなく、役員は兼務しますが独立した組織として維持します。

- 緑地協定代表委員会が自治会に吸収されるとの事ですが、「緑地」が保有する数千万円の剰余金は、自治会のB/S（※Balance Sheet 貸借対照表）に乗るといえるでしょうか？使い道は？

緑地協定代表委員会（以下「緑地」）保有の財産は従来通り「緑地」の管理下であり、自治会管理下ではありません。

- 緑地協定の遵守徹底してほしい。新築工事で気づいた時にはレンガがなくなっている。

ご存知の方は多くないのですが、緑地協定は法的拘束力がありません。したがってレンガの設置については、お願いはしていますが、強制はできません。また建築協定管理下でもありませんので、レンガがなくなる事態は起きています。建築協定、緑地協定の内容を見直すべきだと思います。

【空き家調査・ごみ関係について】

- 毎年の懸案事項であるが、ビレジの景観維持の為に放置空き家については緑地委員会（空き家実態調査など）建築協定委員会（所有者の住所等把握）と連携の上、枝木の伐採や雑草取りを所有者に強制していきたい。自治会や市役所を通して実施された家も一回きりで終わっている例があるので徹底して欲しい。

空き家調査は自治会環境部が支部の班長さんの協力をいただき毎年実施し、その都度件数をお知らせしています。しかし個人情報問題が壁となり空き家所有者の住所等連絡先を掴むことができません。

また樹木の伐採や雑草取りを強制できないことをご理解ください。自治会としても柏市住宅政策課と相談のうえ、ビレジ内関係団体と連携し具体的な対策を検討してまいります。

- 60軒の空き家にどういった人に入ってもらいたいかを考えた施策を望む。

なかなか難しいテーマですね。現在高齢化率56%、2025年問題（団塊の世代が後期高齢者に一斉になる年）等を考えると、まちの維持のために若い家族の誘致が必須と思われる。最近では近隣都市が、子育て世代の取り込みにあらゆる施策を講じており、柏ビレジでもグランドデザインを推進し、空き家活用を含めた検討を建築協定委員会と一緒に考えて参ります。

- 高齢化が進むにつれ、ゴミ袋の出し入れの責任を負わされるのが、かなりきつくなってきました。自宅の前に出したゴミを収集できるようにしてほしい。（実際日野市では実行している。）

それが無理であれば、せめてゴミ袋を一括保管にして火・水・金（資源ゴミも含めて）業者の方がそれぞれの指定の場所に置き、ゴミ回収終了後、袋は一括で業者に回収してもらおう。自治会費予算と緑化の資源で当分の間は工面できるのではと思います。これでゴミに関する苦情はかなり解決

できるのではと考えます。

ゴミ問題を解決すると高齢化の為に引越しをしなくても、顔見知りの多いビレジが終の棲家にできるのではと考えます。空き家も少なくなると思います。高齢になると自分の事が精一杯で、ゴミ当番はかなりの負担です。

ご提案有難うございます。ゴミ収集の方法も、高齢化に伴い見直しが必要と理解しました。一定条件を満たせばゴミを自宅前で市が回収してくれるそうですが、ゴミ袋の出し入れ当番は自治会班員独自のルールなので、行政では対応が難しいと思います。ご自身が担当の際に、ビレジサポートをお願いしては如何でしょうか。

- ごみネットすぐ壊れてしまう。利用する戸数が多いこともあるだろうが、雨の日の片付けも不衛生で手間がかかります。利用する戸数の検討と、ネットではないBOX（折り畳み大サイズ）の導入の検討を前向きにお願いしたい。

BOXをご希望でしたら班で申請していただければBOXへの変更は可能です。ゴミネットは修理も新品への申請も出来ますのでご検討下さい。

- ごみネットについて 柏市で地域によっては、すべて自治会で購入している所もあります。ビレジでは、なぜごみネットを全て自治会で購入して頂けないのでしょうか？

ごみネット購入80%補助では、残り20%はごみネットを共同で使用している方の負担になりますが、そのごみネット使用グループ以外の方もゴミを入れに来ていたりします。

色々考えがある中で、あと20%の金額を集めるのも大変だと思います。ぜひ自治会でごみネット代金全額出してくださいようお願いいたします。

- 自治会費をきちんと納めているのに、日常生活に必要な不可欠なごみネットも満足に購入・修理できないとは情けない話です。

修理は購入から2年以上経過、新規購入については代金の80%しか認めない。2年や80%はどのような根拠で導き出されたのかご説明いただきたい。ごみネットは住民の必需品です。新規購入、修理は全額自治会費で負担するのが当然ではないでしょうか。

ご意見有難うございます。ご意見を受け7月の部長会で、ごみネットは全額自治会負担とすることに決定しました。実施時期は別途回覧等でお知らせいたします。

- **ごみ集積所があれば、ゴミ袋を出す時間やネットを出す時間でのトラブルが無くなります。集積所を作るもしくは、各支部で独自に決めさせてほしい。**

40年前に開発されたビレジは、景観重視で当時の住民の方から人気を得られず現在の状況になっているものと思われれます。それ故、今から集積所の場所の確保は難しく、また道路には作れません。

ただ、ゴミ出し・ネット出し時間は自治会としてのルール決めはしてないので、各支部で決めて頂いてもいいのではと思います。現在、集積所は、第1支部・第2支部・第10支部の一部に設置されています。

集積所の候補場所情報がありましたら自治会にご連絡いただければ検討して参ります。

【防犯・防災・安全対策について】

- **防犯防災部活動報告「個別避難計画」と福祉健康部活動報告「K-net対応」の関係を説明して下さい。**

個別避難計画（要援護者）については、柏市から2022年度のモデル事業として当自治会が選定されました。自治会としては、K-netの対象者を要援護者として認識して進めることがベストと提案し、その方向で現在動いています。今年度は、K-net主管の福祉健康部と防災部が更に連携を強くし、柏北部地域包括支援センター（通称：ほくほくセンター）、（有）北柏交通の協力を仰ぎながら進めて参ります。

- **路上駐車も迷惑ですが、路上に（自宅前の）物を置いている方もいまして、これも迷惑というか危ないです。ビレジ内の環境、安全についてもっと突っ込んで対応を考え、行動方法を検討してください。ビレジ内の環境、安全確保のため、3ヶ月に1回位はチームでビレジ内を巡回し、適切な対応をとっていただけたらよいと思います。**

同様の苦情が自治会事務局に寄せられるケースがあります。その場合、所定の用紙に要望苦情の内容を書いて頂ければ、役員で状況を見回り確認します。しかしながら、事実確認ができたとしても警察への通報しかできませんので是非直接警察にご連絡下さい。

ビレジは広域な上、役員が高齢化し、また現役世代も個々の本業の傍らでの自治会活動なので、それに加えて定期的な巡回活動は現状では困難ですが、一般公募でチーム結成等、持続可能な方法を検討して参ります。

- **ビレジ内から柏たなかT公園前を通過する車が増加し危険です。（スピードも出している）歩道の確保や道にポールを立てるなど、速度抑制**

の対策をして頂きたい。

柏市に要望を出します。別途、自治会に要望のあった子供の飛び出し安全防止については対処済みです。

- **自宅前の道路の交通量が多くなり、自宅カーポートの出し入れの際常に危険が伴います（スピードを落とさず通行する為）。自治体と協議して対策をして頂きたく存じます。宜しくお願い致します。**

交通量については規制できませんが、スピード規制の徹底について柏市に申し入れます。

- **第3バス停からたなか駅に送迎の車の通行量が多くなり、第6公園のカーブもスピードを落とさず走る車に何度か怖い思いをしました。ピオトープの入口あたりに注意喚起の立て看板でもあればと思います。**

柏市に相談します。

- **商店街駐車場について、商店街利用以外の車が停まっていて空きがなく、使用できない時があったり、テニスコート脇に複数駐車している車があって、出口から出られず入口から出ざるを得ないことがあり、危険を感じます。注意喚起をしていただけたらと思います。**

当エリアは東急の管理下なので、東急に申し入れます。

【支部内運営・関連団体・周辺施設について】

- **班長引き継ぎ時の班員名簿について、あらかじめ氏名と街区をパソコンで印字しておいてほしい。年をとってきて目が悪くなってきており、書くのが大変になってきたことや、引越しやご逝去されている場合もあり、こちらで把握していないこともあるため。お手数ですがご検討お願いします。**

申し訳ございませんが、自治会では班の会員構成については把握しておらず、117班もあり、班ごと名簿を作成することは不可能なので、是非、各班でご対応下さい。引越しやご逝去、空き家化については、班（支部）から自治会事務局にご連絡がないとわかりませんのでご協力お願い致します。

- **和太鼓グループ「疾風」に小学生など新入会員が多く、極めて地道な活動を続けている。太鼓やハチ等装備が古くなり自治会のサポートが不可欠だと思う。自治会の活動の中でも今後育てて行くべきだと思う。**

ご提案有難うございます。自治会では毎年助成をして応援しています。

- 今後、近隣公園のマナー改善（犬の糞やごみの投棄）、遊具の充実化、トイレや水飲み場の整備等、ご検討いただければ幸いです。

計画に盛り込み、ランドデザインの範囲でできることを検討して参ります。

- (7支部)階段横の草地伐採時の草と土の巻き上げがすごいです。風が強い日、晴れて土が乾いている時に、赤ちゃんの服を外干ししていて、結局2回の洗濯をしました。せめて赤ちゃんが小さい頃だけでも、事前連絡が欲しいです。

柏市に依頼します。

- 自治会館を児童館や図書館の利用ができると子育て世帯はありがたい。

現在の自治会館の利用率は高く、図書館のスペースを持ってないのですが、ランドデザインの中で都市再生整備計画に子育て世代のケアを盛り込む検討をして参ります。今は、ビレジ近隣センター内の図書館をご利用下さい。

以上

引き続き皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。